



明野

【TEL】0144-57-1811 【FAX】0144-57-1812
【HP】<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/akeno/>

学校教育目標

- ・豊かな感性を育む生徒
- ・学ぶ意欲を育む生徒
- ・逞しい心身を育む生徒

一学期末に行った学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。

8月25日には、数値等の集計結果をお知らせいたしました。今回はいただいたご意見、ご要望について、全体に関わるものを紙面にて回答とさせていただきます。いただいたご意見、要望には、学校や私たちの教育活動を評価し、励ましていただくような意見も多数あったほか(今回は未掲載)、私たちの反省、改善すべき点をご指摘いただいたものや逆に保護者の方に学校の考えをお伝えしご理解いただかなければならないものもございました。いずれにしても、こうしたやり取りを通して、学校と家庭との共通理解を深め、子供たちにとってよりよい学校づくりを進めていきたいと考えています。ご不明な点については、学校(教頭)までお問い合わせください。

今後とも明野中学校の教育活動に、ご理解、ご協力をお願いいたします。

【行事について】

○参観日が少ないので増やしてほしい。

→ 要望を踏まえ、次年度に向けて前向きに検討します。

○参観日や行事の予定をもっと早く連絡してほしい。

→ できるだけ早くに連絡するようにします。また、学校ホームページにも掲載します。

【学習指導について】

○教科にもよりますが、ワークをひたすらやる指導だけではなく、勉強の方法を指導してほしい。

→ 「勉強の方法」、「学び方」についてのご意見です。「学び方」は大きく2つあると考えています。

一つは、学んだ知識や技能などを記憶に定着させ、必要な時に思い出せるようにする学びです。これについては、一定期間を空けて記憶をより戻す学習が効果的であるとされており、ワーク等を活用した反復学習などがこれに当たります。

二つ目は、獲得した知識や技能を活用して課題を解決したり、新たな知識を生み出したりする学びや学び方(問題の解決の仕方)です。これは、これからの時代に求められている学びであり、本校ではこうした学びを実現するため、研修活動に努めているところです。

また、家庭学習の仕方や予習・復習のやり方など「勉強の方法」については、授業や教育相談などの機会を捉えて指導、助言していきたいと考えています。分からない所はその場で先生に聞いたり、休み時間、放課後などに質問したり、どんどん先生を活用してください。

【総合的な学習の時間について】

○SGDSの取り組み活動、素晴らしいことだといつも感じています。更にもう一步踏み込んだ活動ができると、親として嬉しいなと思っております。地球環境、身体の健康、心の健康は全てが結びついており、巡っていません。まずは、身近な学校の中の環境を考えて見ることも大切だと考えています。先生と生徒で、学校で使用されているもの、自分が何気なく使っているもの、それが環境汚染や体調不良につながっているかもしれないことをもっと考えて貰えたなら嬉しいです。

→ 3年間を見通した計画を立て取り組んでおります。ご意見を参考にさせていただきます。

【制服について】

- ジャージ登校の日を増やしてほしい、体育のある日はジャージ登校にしてほしい。
- 学習環境の整備をもう少し整えて欲しいです。三年生の教室が暑すぎたり、冬季間、席によっては寒いようですが、カーディガンやら膝掛けの使用ができないのは、健康に悪いのではないかと思います。
- 冬の寒さ対策で上着の着用を許可する、制服登校なら中にジャージのズボンを履くのを許可するなど寒冷地ならではの寛容な思考で規則を見直し体調管理をしやすくしてほしいです。

→ **学校ではこれまで、フォーマルな制服を正しく着用することを集団生活の中で身に付けてほしいと考えて指導してきた経緯があります。一方、過日の熱中症対策のときのように、生徒自ら考え、TPOに応じた服装を正しく選択できることは主体性の育成の観点からも重要です。いただいたご意見を参考に、これらをバランスよく育んでいけるよう工夫して参ります。**

また、現在の明野中学校の「生活のきまり」には、制服の項目がいくつかあります。時期を見て、生徒会と共にきまりについて考える機会がもてればよいと考えています。

【生徒指導上の課題について】

- 多感な時期にスマホが当たり前になり、LINEでのやり取りも増え、友達との関係がどうなのか心配です。注意し、使用を控えさせることでコミュニケーションが取れなくなる事も不安、SNSなどネットばかりで学力が落ちることも不安です。

→ **生徒自身がスマホをはじめとする情報機器のメリットとリスクを正しく認識し、「賢く安全に使える」ようにすることは情報化の時代を生きていくために必要な力だと考えています。本校では、外部講師を招いての防犯教室や非行防止教室を開くなど、計画的に情報モラル教育に取り組んでいます。**

また、**スマホ等の使用過多（1日2時間以上）の学力への影響も懸念されます。このことについては、学校だより等で情報発信をし、ご家庭にも協力をお願いして取り組んでいきたいと考えています。**

- 不登校傾向の生徒への対応は難しさもあると思いますが、学校だけでなく町内の方や保護者の力を借りてみんなで子育て、教育という体制が作れたらよいと考えています。難しいけれど、先生方はもう授業などで手一杯だと思うので、PTAなり町内会が力を出し合い、支援チームみたいなのが作れたらよいかなと思います。

→ **本校には225名の生徒が在籍しています。思いも考え方も、生活環境も異なる225の個性です。中学生という青春を謳歌している個性もあれば、人には言えない悩みや辛さを抱えている個性もあります。私たちはどの個性もかけがえのない個性として、一人一人の自立を支えていきたいと考えています。**

「学校だけでなく町内の方や保護者の力を借りてみんなで子育て、教育という体制が作れたら…」、その思いは非常にありがたいです。こうした思いを紡ぎ合わせ、いつの日か子供一人一人を温かく支える学校、家庭、地域の体制が実現できるようPTAや学校運営協議会の皆様と知恵を出し合い、連携、協力していきたいと考えています。

- 特定の生徒の言動や行動で、他の生徒に迷惑がかかるようなことがないようにしてほしい。

→ **ご意見、重く受け止めます。学校では、繰り返し指導を行い、該当生徒の理解や成長を促すよう努めております。しかし、理解や成長に時間を要するケースもありますので、粘り強く指導を行っていきます。お子様に関してご不安なことがございましたら、学級担任や学年主任、指導部長まで遠慮なくご連絡、ご相談をお願い致します。**

○心の教室を担当の先生を介さずに予約できるようにしてほしいです。

○本人が悩んでいたりする事を自分から話せる雰囲気を作って欲しい。

→ 『心の教室』については、相談員がいるときはいつでも来室していただけます。生徒に限らず、保護者の方もどうぞご利用ください。スクール・カウンセラーとの面談については、カウンセラーの来校日も限られ、相談を希望する生徒、保護者も複数いることから調整が必要です。事前に担任か教頭にご連絡をお願いします。

私たちはできるだけ相談しやすい雰囲気をつくっているつもりですが、まだまだ不十分でした。悩みや心配事があれば、相談しやすい先生に是非話しかけてください。直接話すことができない場合は、手紙やアンケート、相談電話などを利用してほしいと思います。また、ご家庭から「悩んでいるようです」のご連絡をいただくと注意して対応することもできますので、遠慮なくご連絡ください。

今後とも気軽に相談できる雰囲気づくりに、一層取り組んでまいります。

【部活動について】

○部活の種類が少ないと思います。

○テニス部バドミントン部があったら良いと思いました。

○部活動は、国の方針も含めて仕方ないかもしれませんが、どんどん衰退しているのが気になります。初心者も加入できるような部活の再編、人数がいなければすぐ休部にしないなど。

→ およそ 25 年前は全校生徒 600 人弱であった本校も今では 225 名となりました。それに伴い、部活動入部者、指導できる教員も減少し、維持の難しい部活動も増えました。

その間、学校には「総合的な学習の時間（探究する力の育成）」や「全国学力、学習状況調査（学力の向上）」、「道徳の教科化（豊かな心の育成）」、「いじめ対策（多様な生徒指導への対応）」、「情報教育（コンピュータの活用）」などなど多くの教育活動が求められるようになり、教員の勤務時間は増加の一途をたどりました。本校でも、月 80 時間を超えて時間外勤務をする教員も珍しくなく、健康面や教育活動への影響が危惧されます。残念ながら自校だけ、教員だけでの部活動運営では、ご要望に応えきれない状況が生じています。

全国的にも同様の状況があることから、スポーツ庁が中心となって、令和 5 年度から 7 年度を推進期間とし休日の部活動の地域移行を進めることになっています。今後、苫小牧市も行政、学校、家庭、地域が協力して、中学生のスポーツや文化活動を応援する体制を構築することになるかと思いますが、時期が来ましたら改めて説明させていただきます。

本校も、部活動の外部指導者を招聘したり、他校との合同チームを検討したりするなど、様々な方法を考え対応していきます。

【その他】

○大事なお知らせ、特にお金に関する物は、メールではなく、プリントで配布して欲しいです。

→ 連絡事項の保護者への確実な周知、ペーパーレス、教職員の働き方改革の推進などの理由で、連絡の電子化が進んでいます。今後もこの流れは加速していくとは思いますが、今年度については重要な連絡事項は、『さくら連絡網』とプリントの両方でお伝えします。

○教育活動や学校の様子をもっと詳しく知りたいです

→ コロナ禍で、生徒の学習の成果をご覧いただく機会がなかなかもてませんでした。ようやく日常的に保護者の皆様にご来校いただけるようになりました。上記にもありますように、参観日など来校の機会を増やすことを次年度に向けて検討していきます。

また、二学期は学校のホームページの更新にも取り組んでまいりますので、そちらもご覧ください。

学校ホームページ URL <https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/akeno-jhs/>